



その39

市長は長久手をどんなまちにしたいか、そのために何に取り組もうとしているのか。その想いを市長の語り口でお伝えします。みなさんと語り合うように、一緒に未来の長久手のことを考えてみましょう。また、市HP【にょぜがもん】もぜひご覧ください。[市HPのトップページから「にょぜがもん」をクリック。]



言い伝え

やざえもん

本市に昔から伝わる言い伝えの一つに、「八左衛門の墓」があります。8月24日が、八左衛門の命日だったと聞き、当日は、私もお参りをさせていただきました。

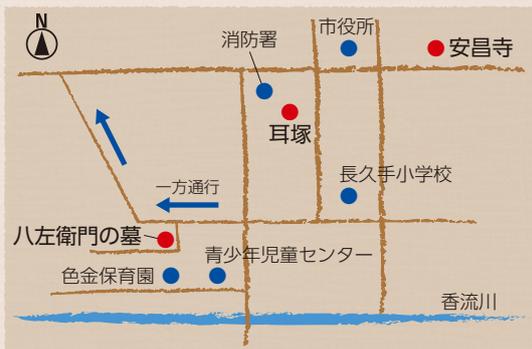
「八左衛門の墓」の言い伝えを、長久手町史及び昭和54年10月号の「広報ながくて」に掲載された内容を元にご紹介します。



今から約二百年前、寛政年間のことです。岩作村に八左衛門という男がいました。八左衛門は大食いで、生まれつきの乱暴者。村人を殴ったり、酒に酔って田畑を荒らしたりの悪行三昧だったので、村人も困っていました。

ある日とうとう、「八左衛門をこのままにはしておけんぞ」と、村の庄屋さんが村人に呼び掛け、村人みんなで力を合わせて八左衛門を捕え、首から下を地中に埋めました。それでも強情な八左衛門は、なかなか反省の色を見せようとはせず、そのまま何日か過ぎるうちに体が衰弱していきました。死ぬ間際には、ついに改心したとみえ、「首から上(頭、目、耳、鼻、口、歯)の病がある者はわしに祈れ。必ず直してやる」と言い残しました。

死に際にあっても詫びの言葉を口にしませんでしたが、ありったけの詫びの気持ちが八左衛門を仏にしたのでしょうか。その後、「八左衛門はたいへんな大食家だったでなあ」と村人は食べ物を供え、病気を治すためにお参りするようになり、お地蔵様が建てられました。



※「八左衛門の墓」には、駐車スペースがありません。車の場合は、市役所から徒歩でお出かけください。

ねんぶつこう

八左衛門の供養は、10年ほど前までは地域の念仏講で、その念仏講が解散した後は、ご近所の方が、今も続けてくださっています。八左衛門の墓の近く、消防署南側には、いつ、誰が建てたものか定かではありませんが、耳の病に効くと伝えられる「耳塚」があります。安昌寺(岩作色金)には、赤ちゃんの夜泣きに効くと伝えられる「子守石」があります。そのほかにも、「三ヶ峯のウバミ」等の言い伝え等もあります。

今月9日(日)には、長湫地区で警固祭りが行われます(6ページ参照)。地域の方々の大変なご尽力により、昔から続くお祭りが、後世に伝えられています。こうした言い伝えや祭りをきっかけに、長久手の歴史や文化にも、関心を寄せていただければと思います。



表紙の写真もう一枚

わくわく体験リニモツアーは、貸切りリニモの体験乗車と沿線施設の体験講座に参加できるツアーです。この日はリニモ車両基地を訪問。車両が浮上する仕組みをリニモの模型を使って勉強しました。普段できない体験に、子どもたちはわくわくしながら、説明を聞いていました。

スマートフォンで広報ながくてを持ち歩こう!

App Store Google Play 「ながくて」で検索 ▶ ダウンロード

